

軍都と呼ばれた千葉 – 千葉市域の軍事施設と軍用地 –

◆入会地から軍用地へ

「^{ろっぽうの}六方野」は江戸時代前期まで周辺15ヶ村^{いりあい}入会の広大な採草地でした。江戸時代にここから長沼・川野辺・小深の三つの新田村が成立しますが、中央部分は周辺村々^{いりあい}の入会採草地として残されていました。その残されていた部分に明治5年(1872)、陸軍の^{れんべいじょう}練兵場が設定されます。ここは四街道の射的場と共に比較的初期から軍用地が設定されたところです。その後、明治中期から順次周囲を買収、下志津軍用地として大きく拡張されていきます。

◆^{れんたい}鉄道聯隊の移転

市域への軍関係施設の進出は、明治41年(1908)の交通兵旅団と^{れんたい}鉄道聯隊第2大隊の椿森への移転に始まります。鉄道聯隊は東京中野に設置された鉄道大隊がその前身になります。自動車が用いられていない当時、陸運の中心は鉄道であり、軍隊・軍需品の輸送の多くは鉄道に依存していました。そこで戦地における鉄道の建設・修理・運転や、敵の鉄道の破壊に従事する部隊が編成されたのです。この部隊は日露戦争に参加して鉄道建設などに活躍しましたが、広大な中国東北地方を舞台としての活動であったために、その規模の不足が明らかになりました。そこで明治40年3個中隊から12個中隊へ拡張し、翌年にかけて千葉(2個大隊)・津田沼(1個大隊)に移駐しました。このとき中野の跡地に電信隊と気球隊が設置され、鉄道聯隊と3隊で新設の交通兵旅団を構成しました。この旅団司令部は鉄道聯隊千葉兵營の向かいに置かれました。その後市域には次々と陸軍関係の学校や施設がつくられ、昭和初期には軍都と呼ばれるほどでした。

千葉市内の主な軍関係施設・学校一覧

| | | | |
|------------------------|----------|--------------|---|
| 鉄道第1聯隊 | 明治41年6月 | 中央区椿森2・4丁目 | ・戦地では鉄道の建設・修理及び兵員・物資を輸送した。平時は千葉市とその周辺で訓練をした。 ・明治29年11月「鉄道大隊」として東京・牛込の陸軍士官学校内に創設、明治30年6月東京・中野に転営、明治40年10月第2大隊のみ椿森に転営、同年11月鉄道聯隊本部及び第1大隊の全てが椿森に転営、大正7年5月鉄道第1聯隊になった。(第2聯隊は津田沼) |
| 同 材料廠 | 明治41年 | 稲毛轟町3丁目 | ・鉄道工兵の教育、鉄道器材の修理を行っていた。 ・明治41年鉄道聯隊が椿森転営の際「聯隊材料廠」を建設。大正7年5月鉄道第1聯隊、同第2聯隊(津田沼)への改組に伴い「鉄道材料廠」として聯隊より独立、大正12年3月末日廃止。その施設の一部を利用し、「鉄道第1聯隊材料廠」を設置。 |
| 同 作業場 | 明治41年 | 中央区弁天 | ・演習用の作業場 |
| 千葉陸軍病院 | 明治41年4月 | 中央区椿森4丁目 | ・傷病兵の治療にあたった。明治41年4月「千葉衛戍病院」創設、昭和11年10月「千葉陸軍病院」と改称。 |
| 千葉陸軍兵器補給廠 | 大正12年 | 稲毛区轟町3・4・5丁目 | ・兵器の補給、鉄道器材の保管を行っていた。 ・大正12年3月「鉄道材料廠」が廃止され、同年4月その施設の大部分を利用し「千葉陸軍兵器支廠」が発足、昭和14年「千葉陸軍兵器補給廠」と改組、昭和20年4月「東京陸軍兵器補給廠」に合併、「東京陸軍兵器補給廠千葉分廠」となる。 |
| 陸軍下志津飛行学校 | 大正13年5月 | 若葉区若松町 | ・偵察機教育を行った。 ・大正10年4月「陸軍航空学校下志津分校」を印旛郡千代田村に創立、大正12年1月若松町に移転、大正13年「陸軍下志津飛行学校」として創立、昭和19年6月廃校し、「下志津教導飛行師団」となる。 |
| 陸軍歩兵学校 | 大正元年12月 | 稲毛区作草部町 | ・歩兵の戦闘法を研究し、これを全軍に普及させる目的で設立。 |
| 気球聯隊 | 昭和2年11月 | 稲毛区作草部町 | ・大正2年所沢に「気球隊」新設、昭和2年11月作草部に転営、昭和11年5月「気球聯隊」と改称。 |
| 千葉聯隊区司令部 | 昭和6年1月 | 中央区椿森5丁目 | ・千葉県下の徴兵、動員、召集、在郷軍人の指導等を行った。 ・明治21年5月「佐倉大隊区司令部」設置、明治29年3月「佐倉聯隊区司令部」と改称、昭和5年3月同司令部焼失。昭和5年12月「千葉聯隊区司令部」と改称、昭和6年1月椿森の交通兵旅団司令部跡に移転。 |
| 千葉陸軍戦車学校 | 昭和11年12月 | 稲毛区穴川4丁目 | ・戦車隊に必要な基礎的学術・通信・整備の教育及び戦車に関する調査・研究を行った。 ・昭和11年8月「陸軍戦車学校」習志野に発足、同年12月穴川に移転、昭和15年「千葉陸軍戦車学校」と改称。 |
| 千葉陸軍防空学校 (千葉陸軍高射学校) | 昭和13年8月 | 稲毛区小仲台 | ・高射砲術の教育を行った。 ・昭和13年4月四街道の陸軍野戦砲兵学校内に「陸軍防空創立準備室」発足、同年8月小仲台に移転、昭和17年8月「千葉陸軍防空学校」と改称、昭和19年4月に「千葉陸軍高射学校」と改称。 |

※『写真集 千葉市のあゆみ』より(千葉市広報課・2001年3月)